

多摩消防団だより

第23号
発行 令和元年9月吉日
多摩消防団
広報部



多摩消防団長
井田 哲芳

平成最後の年度を迎え、5月には元号が「令和」に変わりひとつの節目の年を迎えました。昨年、多摩消防団は大きな節目である五十年を迎えることができました。これもひとえに協力頂きました皆様のおかげと、深く感謝しております。

さて、今年度は苦楽を共にした十一人の仲間が退団し、十人の新入団員が仲間に加わりました。退団された皆様におかれましては、大変ご苦勞様でございました。心より感謝申し上げます。今後多摩消防団にお力添えいただけると幸いです。

新入団員の皆様、操法訓練を始め、様々な訓練が始まり徐々に消防団活動にも慣れてきた頃かと思えます。今後も気を抜かず訓練を重ね、いち早く活躍できる様期待しております。結びになりますが、これまで、大きな事故もなく消防団活動に邁進できましたのは、消防団員やそのご家族の皆様、多摩消防署を始め関係各機関のご協力の賜と、心から感謝申し上げます。挨拶と致します。



多摩消防署長
秋元 良己

4月1日付で多摩消防署長に着任いたしました秋元です。どうぞよろしくお願いいたします。多摩消防署は、平成24・25年度に続き二度目の勤務となります。井田団長をはじめ多くの顔見知りの団員の皆さんにお会いすることができ本当に良かったと思っております。消防団の皆さんは仕事のかたわら水防訓練、ポンプ操法訓練、防災訓練等各種訓練にご参加いただき、頭が下がる思いでいっぱいです。私たち多摩消防署員も多摩区民の安全と安心のために努力してまいります。地域に密着した消防団の皆様のお力添えをいただき、消防団と署が一丸となつて災害に立ち向かってまいりたいと思っておりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。多摩消防団の益々の発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして就任の挨拶とさせていただきます。

全国統一 防火標語

ちやうびん 55ねーで確認 火の用心

辞令交付式

4月13日、多摩消防署講堂にて、辞令交付式が行われました。井田哲芳団長のもと、交代があつた稲田分団の新分団長に辞令と分団旗の授与が行われ、新副分団長や新部長、新班長、十名の新入団員に対して辞令が渡されました。また、退団された方々にも辞令が渡されました。退団された方々におかれましては、永年に亘り誠にありがとうございました。



多摩消防団役員

- | | |
|--------|--------|
| 団長 | 井田 哲芳 |
| 副団長 | 増田 朝光 |
| 副団長 | 関 喜範 |
| 庶務部長 | 井口 保 |
| 警護部長 | 吉澤 偉臣 |
| 消防部長 | 井田 久 |
| 広報部長 | 石川 秀明 |
| 稲田分団長 | 手塚 貴久 |
| 生田分団長 | 遠藤 巖留 |
| 稲田分団役員 | |
| 副分団長 | 大貫 欽也 |
| 副分団長 | 田村 賢太郎 |
| 分団部長 | 木幡 義幸 |
| 分団部長 | 吉澤 久裕 |
| 分団部長 | 榎田 良光 |
| 分団部長 | 保田 昌彦 |
| 分団部長 | 平糠 毅 |
| 分団部長 | 淺谷 武 |
| 分団部長 | 森田 博史 |
| 分団部長 | 早坂 新吾 |
| 分団部長 | 細田 知良 |
| 生田分団役員 | |
| 副分団長 | 漆原 英樹 |
| 副分団長 | 藤井 修二 |
| 分団部長 | 田中 雅之 |
| 分団部長 | 稲木 剛 |
| 分団部長 | 小菅 康範 |
| 分団部長 | 佐藤 直孝 |

消防団用機械器具等性能検査

4月13日、宮前区にある川崎市消防総合訓練場において、災害時に備え、直ちに活動出来るよう、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、小型ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。



多摩消防団運転訓練

1月21日、28日の二日間、向ヶ丘自動車学校にて多摩消防団運転訓練が実施されました。MCA無線を使用し、消防署から消防団へ火災現場、火災状況の指示を受けて現場に向かうといった内容でした。いつ来るか分からない大規模災害に対してMCA無線の使用方法を確認する充実した訓練となりました。



文化財防火デー消防訓練

1月30日 川崎市立日本家園船越の舞台において、文化財防火デー消防訓練を実施しました。多摩消防署、多摩消防団(中野島班)、日本家園職員等(自衛消防隊、炉端の会ボランティア)の参加部隊により、「タバコの投げ捨てにより船越の舞台花道付近より出火した」との想定で放水訓練が行われました。ホースが破裂するアクシデントもあり、本番さながらの緊迫感のある訓練になりました。

川崎市総合水防訓練

6月14日、多摩川河川敷の二ヶ領せせらぎ館付近において、川崎市総合水防訓練が開催されました。水害による被害の防止・軽減のために、土嚢の作り方や、都市型工法、積み土嚢工法という二つの訓練を行いました。また、エンジン式チェーンソーを使用し、実際に木を切ったり、消防団機動部隊は自分たちが所持する重機を使って救出訓練を行いました。



多摩消防団広報部

本団広報部長 石川 秀明
生田分団部長 佐藤 直孝
稲田分団部長 平糠 毅
稲田分団部長 浅谷 武
生田分団団員 上保 功
生田分団団員 吉田 治人
生田分団団員 荒井 稔
生田分団団員 大木 康弘
稲田分団団員 飯沼 康祐
稲田分団団員 田村 英喜
稲田分団団員 鈴木 広樹
稲田分団団員 吉場 保
稲田分団団員 新井 隆久

編集後記

第23号発行「多摩消防団だより」に際し、ご協力頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同

第20回多摩消防団消防大会

7月7日、明治大学生田キャンパス内において、第20回多摩消防団消防大会が行われました。稲田分団5班、生田分団4班の全9班が小型ポンプ操法の競技を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、各班から選出された団員が日ごろの訓練の成果を発揮しました。優勝は、中野島班、準優勝は、登戸班、第三位は、宿河原・堰班でした。また、昨年4月に入団した女性消防団員による各個訓練も行われました。



| | |
|-------|--------|
| 祝 優勝 | 中野島班 |
| 祝 準優勝 | 登戸班 |
| 祝 第三位 | 宿河原・堰班 |



△小型ポンプ操法とは？▽
設置された防火水槽から給水し、火災現場を想定した火点(かてん)と呼ばれる的に目掛けてホース3本を展開し、放水、撤収するまでの一連の手順を指揮者、一番員、二番員、三番員、4名で行います。ポンプ・ホースなどの操作を速く正確に行うとともに、動きの綺麗さを競います。採点は各個動作の正確さ及び火点の的が倒れるまでのタイムなどが減点法で採点され、減点が少ないチームほど上位となります。

優勝班班長挨拶

中野島班班長 本山 正春

班長になり二年目にして優勝することが出来ました。選手四人が厳しい訓練に耐え抜いた事と、OBの方や町会の皆様のご協力、そして班員全員が一致団結してやり遂げた結果だと満足しています。

中野島班としては、令和最初の大会で10回目の優勝となりました。もちろん来年、再来年と連覇をする為の最初の一步だと思っています。この勢いのまま、来年の市大会でも良い成績が残せる様に班員全員が同じ目標を持ち戦います。

祝 個人賞受賞者インタビュー

◎指揮者

松澤直人(中央生田班)

中央生田班は5月7日から週2回訓練を始めました。私は以前より何度か指揮者を経験しており、苦手な所や得意な所は私なりに分かっていたので指導していただく先輩に苦手な所を徹底的に教えていただきました。大会では選手にミスも有り入賞できず悔しさが残ります。班員全員でもっと訓練をしていき、次回は上位入賞を目指したいと思えます。今回、個人賞をいただいた事は凄く嬉しく思います。今後はこの経験を活かし指導していきたいと思えます。支えていただいた全ての人に感謝致します。ありがとうございます。

◎1番員

関山健蔵(宿河原・堰班)

今年初めて操法大会の選手として出場しました。班員、OBの方々の色々なアドバイスを頂き、訓練を精一杯に取り組んだ結果、最優秀個人賞をとることができました。大会当日はあいにくの天候で、足元が滑りやすく神経を使いましたが、訓練の成果を出すことが出来ました。関係者の皆さまに感謝申し上げます。

◎2番員

本間正俊(登戸班)

昨年と同じ番手だったので手順は頭に入っていました。その分伸び代が少ないのではないかと不安に感じていました。そこを先輩方丁寧に指導して下さい、完成度を高めることができました。ありがとうございます。

◎3番員

田中純也(登戸班)

何事にも出来ない私を辛抱強く支えてくださった班員の皆様。何より、普段から消防団活動を後押ししてくださっている地域の皆様あってこそ、優秀選手賞だと思っています。

これを励みに、今後も地域の防火防災に努めて参ります。





稲田分団分団長
手塚 貴久

平成最後に辞令を受け、令和最初の稲田分団分団長の重責を任されることになり、身の引き締まる思いでおります。

昭和から平成の歴代分団長が築き上げてきた稲田分団の良き伝統は、私の代でも継承し発展させていきたいと考えています。一方、以前では考えられなかった事柄も増えてきました。現役団員の現場経験の不足や大学生の入団等、令和の時代の流れに取り残されぬよう、変えるべきところは変えなければならぬと考えています。いずれにしても私一人では実現することは出来ません。諸先輩方の指導を仰ぎながら稲田分団全員で取り組んでいきたいと思っております。

まだまだ未熟な分団長ですがご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

消防団入団にあたり

宿河原・堰班 濱田 義隆
今年度より消防団の団員として活動し三ヶ月となりましたが、入団当初は何を思い何をすべきなのかも理解もしていない情性でありました。

現在は操法大会に向けて先輩方より、「何故、操法をやるのか」「地域における消防団の在り方」等たくさんのお話を学ばせて頂いています。大会では、チームの優勝を目標に掲げ、とても厳しい練習ではありますがが班一丸となって良い雰囲気です。

これから先も、地域防災のリーダーだという自覚を持ち、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っていきます。

生田分団団旗祭

6月17日、前日の雨で開催が危ぶまれましたが、当日は晴天に恵まれ、枳形中学校の校庭にて生田分団団旗祭が開催されました。新入団員5人を加えた体制で、団員全員による小隊訓練をし、各班による小型ポンプ操法をお披露目しました。今後も安心安全を団旗に誓い、団旗祭を終了しました。



稲田分団操法大会

6月30日(日)宮前区にある川崎消防訓練センターで稲田分団操法大会が開催されました。

今回の試みとなった稲田分団全員による各個訓練を披露しました。
小型ポンプ操法では9チームが参加し日頃の訓練の成果を十分に発揮しました。

